

令和5年度 大阪府行政経営の取組みについて

令和5年2月
行政経営課

- 大阪府行政経営の取組みは、行財政改革推進プラン(案)(平成27～29年度)終了後も、「自律的で創造性を発揮する行財政運営体制の確立」に向けた改革の取組みを継続するため、「新たな行政経営の取組み」及び「健全で規律ある行財政運営」について、毎年度の府の取組みをとりまとめたもの。
- 今後も、持続可能な社会を構築していくため、府は、府民・企業・市町村・国との連携を一層深め、社会全体で課題解決する「起点」としての役割を果たすとともに、新たな技術も活用し、従来の手法や発想に捉われない行政経営を行っていくことが必要。
- 行動指針として、『【発見】多様な「知」と交わり、新たな「気づき」を得る』、『【選択】多様なプレーヤーを束ね、より良い道筋を見出す』、『【実践】固定観念に捉われず、新しい取組みに挑戦する』を掲げ、以下の取組みを推進する。

新たな行政経営の取組み

1. デジタル行政の推進

- Ⅰ 大阪スマートシティ戦略の推進
- Ⅰ データの利活用の推進
 - ①オープンデータ
 - ②大阪広域データ連携基盤（ORDEN）の運用及び活用促進
- Ⅰ データ分析に基づいた効果的な政策立案（EBPM）
- Ⅰ 行政手続きのオンライン化
- Ⅰ 3つのレスの推進
 - ・はんこレス、ペーパーレス、キャッシュレス
- Ⅰ ICTを活用した社会課題解決
- Ⅰ AI・SNS等を活用した相談体制の充実
 - ・AIチャットボット
 - ・SNS等相談
- Ⅰ AI・RPAを活用した業務の効率化
 - ・音声認識技術（AI）を活用した議事録作成
 - ・RPAを活用した庁内業務の効率化
- Ⅰ デジタル技術を活用した都市基盤施設の維持管理
 - ・大阪府都市基盤施設維持管理データベースシステム
 - ・まいど通報システム

2. 効果的な情報発信

- Ⅰ 分かりやすい表示
 - ・おおさか防災ネット
 - ・水防災情報システム
- Ⅰ メタバースを活用した大阪の魅力発信
- Ⅰ 企業等との連携による情報発信
 - ・企業のネットワーク等を活用した府政PR
 - ・OSAKA KOUMIN Action Platformを通じた府政PR

3. より幅広い共創の仕組みづくり

- 多様な企業との対話によるアイデア収集・市場ニーズ把握
 - ・サウンディング型市場調査の実施
- 公民連携の推進
 - ・公民戦略連携デスクの取組み
- スマートシティ分野における公民連携による課題解決の仕組みづくり
 - ・大阪スマートシティパートナーズフォーラム
- 公共施設における民間活力の導入
 - ・府営公園のPMO型指定管理等
- 民間の活躍環境の整備
 - ・実証事業推進チーム大阪による企業等への実証フィールドの提供
- 民間資金の活用
 - ①効果的な寄附金の確保
 - ②企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）を活用した地方創生の推進
 - ③民間の資金提供者と協働したNPO等活動支援
- 市町村とのパートナーシップの強化
 - ・公民連携の取組みの市町村への拡大
 - ・情報システム等の共同調達

4. 働き方改革

- Ⅰ 働き方改革
 - ・働きやすい環境づくり
 - ・パソコン一斉シャットダウンシステムの運用を契機とした職員の意識改革
 - ・子育てしやすい環境づくり
 - ・勤務時間の柔軟化
 - ・働く場所にとられない職場環境の実現

健全で規律ある行財政運営

- 組織運営体制
- 財政運営
- 出資法人等の改革
- 公の施設の改革